

2024 年度 八戸小中野幼稚園保護者アンケートの報告

2025（令和 7）年 2 月 21 日

八戸小中野幼稚園

今年度も「八戸小中野幼稚園アンケート」を実施いたしました。

本園の教育目標を基に、子どもたちが自分らしさを大切にしながら、心身共に豊かに成長できることを願い、また、前年度のアンケート結果からの改善できる点を心に留めながら保育に努めて参りました。更に園の改善と職員の資質向上と共に保護者の皆様のご意見感想を参考にさせていただき、共通理解を深めて一緒に子どもの育ちを見つめながら更なるステップアップを目指したく、保護者のみなさまからアンケートにご回答して頂きました。保護者全員のご回答をいただき誠にありがとうございました。みなさまのご意見を集計し、その結果を報告させていただきます。

本園の教育目標

本園はキリスト教の精神により、幼な子一人ひとりの個性を大切にして、その成長を目指します。

1. 自分の大切さを知り、自立して生きる。
2. 他の人を大切にして、共に生きる。
3. 失敗を恐れず、あきらめない。
4. 心身ともに健康に過ごす。
5. 地域の一員として育つ。

本年度重点的に取り組む目標・計画

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 自然に触れて楽しむ | 2 保護者、地域、教会と連携する |
| 3 集団遊びを楽しむ | 4 絵本に親しみを持つ |

評価 4：とくによい 3：ややよい 2：やや努力を要する 1：努力を要する

	I・幼稚園運営に関して	4	3	2	1
1	八戸小中野幼稚園の教育方針を理解している	16 人	2 人	0 人	0 人
2	活動の計画や内容が、園だより等で十分に伝わっている	15 人	3 人	0 人	0 人
3	当園は園児や保護者のプライバシーに十分に配慮している	17 人	1 人	0 人	0 人
4	職員（担任）は、家庭と連絡を取り合い、お互いに連携を図っている	18 人	0 人	0 人	0 人
5	当園は子どもとの触れ合いを大切にし、子どもの理解に努めている	18 人	0 人	0 人	0 人
6	当園は事故防止に努め不審者侵入等への対策など、いつも危機管理に努めている	15 人	3 人	0 人	0 人
7	当園は台風地震など緊急時に保護者への連絡などを、スピーディに対応している	17 人	1 人	0 人	0 人

	Ⅱ・幼児教育に関して				
8	園の教育目標や教育方針はわかりやすい	17 人	1 人	0 人	0 人
9	園の教育目標が子どもたちの中に生きている	15 人	3 人	0 人	0 人
10	園は子どもの力や意欲を、適切に把握して評価している	18 人	0 人	0 人	0 人
11	園は地域（学校、児童館、公民館、など）との交流を行っている	18 人	0 人	0 人	0 人
12	あなたのお子さんは、行事などに意欲的に取り組もうとしている	18 人	0 人	0 人	0 人
13	あなたのお子さんは、毎日の幼稚園生活を楽しんでいる	16 人	2 人	0 人	0 人
14	園は命を大切にする心や思いやりの態度を育てている	15 人	3 人	0 人	0 人
15	園は子どもの言動をよく理解して、親身になって対応している	17 人	1 人	0 人	0 人
16	園は日常の健康管理や正しい生活習慣を身につけるように、指導を行っている	18 人	0 人	0 人	0 人
17	当園は保育参観や学級（個人）懇談など、保護者と話し合う機会を充分に設けている	17 人	1 人	0 人	0 人

18名回答(1名無回答)

～自由記述～ ※1～4について下記回答

- いつもありがとうございます。毎日楽しく通っています。やりたいことや興味のあることがたくさんある我が子に「やりたいことがあるのはいいこと、それを伝えられるのはすごい！」と褒めて下さった先生方の言葉がとても嬉しかったです。
- 最近の体調面で相談しました。園での様子も細かく丁寧に見て頂き、他の先生方にも共有して頂き、とてもありがたかったです。
- 毎日楽しく登園しています。何かあれば相談しやすいので、とてもありがたいと思っています。
- 子どもが自分から幼稚園の出来事を教えてくれる。幼稚園を休みたくないと言う。それだけ幼稚園が楽しいのだと思う。ありがとうございます。
- 楽しく通っています。色々な経験をさせてもらい、細かく子どもたちを見て頂き、日々感謝です。
- 夏場など、子どもたちが捕まえた虫が砂場のおままごと道具に入れられ、蓋をしてあってダンゴムシが干からびていたり、かたつむりが中でたくさん死んでいて、子どもたちが虫の命についてどう思っているのか気になっていました。日陰に置こう、蓋を少し開けておこうと声を掛けたりはしていたのですが、大人がどの程度口出しすべきかも中々難しいと思ったり。虫取りをした後、虫をどうするか、子どもたちと話し合う機会があってもいいと思います。先生方のお考えをお聞きたいです。(※1)
- 大津波等避難先について、千島海溝沿いの地震が来た際の八戸の津波が 27m と想定されているので、凌げるのかなと不安です。海からより遠い高い避難場所・経路についても検討して頂けると安心です。(※2)
- 子どもの性格を理解してご指導いただきありがとうございます。
- 月のお便りで予定を確認して、ソニアは動きやすいように、習字は汚れが目立たない服にしています。当日の予定変更は仕方ないとしても、前日までに変更がある場合、保護者にも教えて欲しいです。(※3)
- ダメという理由を子どもは理解できていないようで「先生にダメと言われたからもうこの遊びはできない。」と悲しそうに言ってきたことがありました。なぜダメなのか分かりやすいように説明ができていたのか疑問に思いました。(※4)

- ひかりの会の日程を早めにお知らせ下さるようになって、出席しやすくなりました。
- 熱心で愛情ある教職員の方々に育てて頂き、親子ともども感謝しています。この幼稚園の良さが多くの人に伝わりますように。
- 包括的性教育など、敬遠されがちな話題であっても子どもにとって必要なことは取り入れていこうという姿勢と、すぐ実現できる柔軟性に感動しました。他では真似できないと思います。日々の親と教員との間で話されたことをすぐに取り入れる早さにも驚いています。
- 子が成長する部分を見て、成長したらたくさん褒めて下さり、いつも感謝しております。うちの子はまだ失敗を恐れるタイプだと思ったので、問9を3にしました。

- ※1 園庭での虫取りについては、虫を捕まえた時に「とっておきたい。」と言う子どもに対して、教師はどうとっておくかを一緒に考えたり話したりしています。しかし、次の日に外に出られなかったりすると、そのままになってしまうこともありました。捕った後の虫の様子をみて、子どもたちはたくさんのことを学んでいます。翌日すぐに確認できない時の対処が足りなかったと考えています。
- ※2 災害時避難場所については、一番近くの指定避難場所は小中野公民館となっています。今後起こるかもしれない災害を予測した上での指定避難場所となっているため、当園でも小中野公民館に設定しており、市からも問題なしとの了解を得ています。千島海溝地震による小中野地域の浸水予想は5m～10m、避難場所の小中野公民館の3階床面高さは9.95mですが、避難する場所は屋上で、さらにそれより高い場所となるため、浸水の被害は免れると予測されます。しかし、想定外のことが起きた時のために、園では、ラピアや柏崎公民館、はっちなど、状況や災害の規模、時間などを考慮して避難することが必要だと考えています。そのため、避難訓練以外にもお散歩で経路を確認したり、実際に職員で歩いて時間を計っておくなどしています。
- ※3 お知らせしていた教室の日程が変更になる事があり、ご迷惑をおかけしました。その際には保護者の皆様にお伝えするようにしてまいります。
- ※4 教師の指導は、内容は同じであっても、子どもによって伝え方は異なります。正確に伝わっているのかどうか、子どもと一緒に振り返りをするなどして、子どもたちへの丁寧な指導を心掛けてまいります。

総括

全体的に良い評価を頂きました。今年度は、昨年度に引き続き「保護者・地域・協会と連携する」に力を入れました。特に保護者会では、昨年度まで「子育てカフェ」でお話を聞いたり、作業をする時間を設けていましたが、今年度はひかりの会として、子どもたちの活動にお手伝いをして頂く機会を増やし、おしゃべりタイムを多く設けました。リーダーを中心にして、子育てや家庭の話など情報交換の場となったようです。また、日程を早めにお知らせすることで、お仕事をされている方も参加できる時があり、とても良かったと思います。そして、ひかりの会の活動が活発になり、会からの提案で、お下がり譲渡会の取り組みが始まったことも嬉しいことです。

今年度の重点目標でもある、集団遊びを楽しむ、という項目では、今年度も小中野公民館を借りて、おにごっこの日を楽しみました。また、日常の保育の中で集団ゲームを取り入れ、全園児で遊ぶ時間を多く設けました。ルールがある中での異年齢児との関わりが、年上としての振る舞いや年下の子が年上の子の真似をして覚えるなど、よい学びの機会となりました。また、定期的に小中野公民館に行くと、そこで地域の方と出会い挨拶を交わしたり、避難場所としての意識を定着させられるなど、良い点が多く見られました。

課題

子どもたちへの対応に教師が一段と共通理解をもって取り組む必要があると感じます。担任だけではなく、どの職員も同じ対応ができるように、子どもの姿を細かく共有して保育に当たるよう、一層の努力をしなければなりません。また、子どもたちが自主的に遊び込めるように、環境の設定を、より充実したものにしなければならないと考えています。教師の関わりが、子どもたちの喜びや楽しさに繋がることを常に心に留め、子どもへのまなざしを大切にしていきます。

2024（令和6）年度 自己評価報告

2025（令和7）年2月21日

学校法人八戸基督教学園

八戸小中野幼稚園

1. 八戸小中野幼稚園教育目標

本園はキリスト教の精神により、幼子一人ひとりの個性を大切に、その成長を目指します。

- ・自分の大切さを知り、自立して生きる。
- ・他の人を大切に、共に生きる。
- ・失敗を恐れずあきらめない。
- ・心身共に健康に過ごす。
- ・地域の一員として育つ。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

1. 自然に触れて楽しむ
2. 集団遊びを楽しむ
3. 絵本に親しみをもち
4. 保護者、地域、教会と連携する

3. 教職員自己評価

重点目標	評価	取り組み状況
1. 自然に触れて楽しむ	B	自然体験の取り組みは年間を通し行った。畑活動や自然遊びなど、参考書を活用しながら季節に応じて工夫した。食育でも、五感を使って体験できる取り組みを計画した。
2. 集団遊びを楽しむ	A	年間を通して継続した。子どもたちが夢中になって遊ぶ姿が見られた。年齢ごとに成長が見られ、子ども同士の関りが深くなった。どの子どもも楽しめるよう配慮した。
3. 絵本に親しみをもち	A	絵本タイムの設定により、絵本を手取る習慣が付き、文字への興味関心も増した。絵本を選ぶ楽しさや、自分で読める喜び、読んでもらう喜びを十分に味わえた。
4. 保護者・地域・教会と連携する。	A	子どもの育ちを家庭と教師間で共通理解を持ち、ともに子どもの成長を願いながら保育にあたるよう努めた。子どもたちの園内活動に保護者に参加して頂き、保護者同士の交流を深めた。地域の方や教会の方と多く交流の機会を持ち、今年度は初めて、小中野小学校の先生方に来ていただいて、子どもの様子や生生活を見て頂くことで、小学校生活での円滑なスタートのための良い機会を持つことができた。

4. 今後取り組むべき課題

- ・遊びの環境の設定を整え、適した声掛けや指導を考え実行していく。
- ・遊具点検以外にも安全の確認や、季節に応じた安全対策を徹底していく。
- ・地域との連携を深めるため、教師が地区の歴史や社会資源について知識を深める必要がある。

5. 学校関係者評価

1. 自己評価の取り組み内容は適切でしたか。

- ・保護者との対応に感心した。
- ・子どもの尊厳を尊重する教育がなされているように思えて評価できる。
- ・子どもたちのよりよい成長のため、教師、保護者、教会、地域が一体となるよう活動に細かい配慮がされていると感じた。
- ・適切であった。集団遊び等の取り組みは、今子どもたちに必要な教育は何かを常に考慮して実践している。教師のミーティングが良くなされ、日ごろの努力を感じる。
- ・子どもの様子、体調等お迎え時や連絡帳で伝えたり、「ひかりの会」（保護者会）等の活動等、日常の中で保護者との信頼関係が醸成されている。個性を大切に自主性を重んじ、職員が共通理解をもって対応している。

2. 今後取り組むべき課題は適切に設定されていましたか。

- ・避難先や教室の日程変更、子どもへの伝え方等、職員で課題を共有し、保護者の疑問に丁寧に対応している。
- ・適切に設定されていた。具体的に分かりやすく、保護者に説明があった。教師間で常に話し合わせ、実際に訓練していることは安心である。
- ・課題の認識は適切だと感じる。全職員が共通認識で課題設定できるよう取り組んでいただきたいと思います。
- ・小中野幼稚園の、園児を大切に一生懸命保育している様子をアピールして、増員につなげられればと思う。

3. 今後、園に期待されることやご意見などがありましたら教えて下さい。

- ・幼子の心の中に、自然とキリスト教の教えが根付くような、愛に満たされた教育を期待している。
- ・ひかりの会（保護者会）でのカリキュラムはとても有意義な内容になっていると感じた。
- ・少子化の中で、園児がどのようにしたら増えていくか、先生方と一緒に考えていきたい。一人ひとりを大切に保育が、日々、先生方の努力によってなされていることに感謝である。キリスト教保育が続けられ、園児、保護者の皆様が喜んで日々通える小中野幼稚園でありますよう祈っている。
- ・「ひかりの会」での栄養士や助産師等、専門性の高い人たちとの体験や学び等の継続をしてほしい。生命を学ぶ機会になるように思う。地域の小学校教員を招待しての幼児理解や小中野公民館での活動等、地域交流を継続してほしい。子どもの視野を広げるような活動が求められているように思う。
- ・今まで通りの保育を継続できるよう努力してほしい。